

主 題 研 究

# 小学校図画工作科における感性をはぐくむ 学習指導の在り方に関する研究

- 作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動をとおして - (第2報)

教科領域教育室 佐藤多江子

研究協力校

花巻市立矢沢小学校

## 研究の概要

この研究は、作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動をとおして小学校図画工作科における感性をはぐくむ学習指導の在り方を明らかにし、学習指導の改善に役立てようとするものである。

本年度は、2年次研究の完結年度として、昨年度作成した指導試案をもとに授業実践を行い、その妥当性を確かめた。

その結果、「対象をとらえる力」「想像力」「創造性」に変化があった。また、対象をよく見つめ、よさや美しさを感じ取り、感じ方や見方を広げていこうとする児童の姿がみられた。

このことから、本研究における指導の手だてが小学校図画工作科における感性をはぐくむうえで効果があることが確かめられた。

キーワード：小学校図画工作科 感性 作品 表現活動 鑑賞活動

## はじめに

図画工作科の表現と鑑賞の活動は、児童が対象と自由にかかわり、おもいをふくらませて自らものごとをつくりだす楽しさや喜びを味わうことができる学習です。また、作品とのかかわりをおして自分らしい感じ方や見方、表現を深め、感性をはぐくんでいくことのできる学習です。

本研究では、次のような仮説を設定し、作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動をおして、小学校図画工作科における感性をはぐくむ学習指導の在り方について研究を進めることにしました。

### 研究仮説

図画工作科の学習において、作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動を表現活動と関連させて次のように行うならば、児童の感性がはぐくまれるであろう。

- (1) 発想の段階で参考作品を見て感想を述べ合う。
- (2) 構想・表現の段階で表現途中の作品を見て気付いたよさや美しさを伝え合う。
- (3) 鑑賞の段階で互いの作品を見て感想を交流するとともに、表現活動と関連ある作品を見て感想を述べ合う。

本研究は、2年次研究のまとめとして、昨年度作成した指導試案をもとに授業実践を行い、その分析と考察をおして、小学校図画工作科における感性をはぐくむ学習指導の在り方を検討しました。

## 小学校図画工作科における感性をはぐくむ学習指導の在り方についての基本構想

### 1 小学校図画工作科における感性とは

感性は、知性と一体化して人間性の根幹をなす重要な資質であるといわれています。遠藤友麗は、「感性とは心に価値を感じ取る力である。美しさや命の尊さ、悲しみ、愛情、人情などの心的な価値を判断し感じられることである。」「感性が内に向かうと、心の豊かさや愛など人間性の深まりとなり、外に向かうと創造のエネルギーとして創造的にはたらく。」としています。この考えをもとに、本研究では、感性がはぐくまれた児童の姿を「対象をよく見つめ、よさや美しさを感じ取り、自分の感じ方や見方を広げていこうとする児童」と考えます。

このような児童を育成するためには、「対象をとらえる力」「想像力」「創造性」を培う必要があり、それぞれ次のような意味をもつと考えます。なお、これらは互いに作用し合って高められていくものと考えます。

**対象をとらえる力**...自分の目で見たり手で触ったりして、色・形・大きさ・手触りなど、対象の特徴や印象を見取る力

**想像力**.....対象から感じた印象から、これまでの経験や記憶を組み合わせ、おもいをふくらませる能力

**創造性**.....対象とのかかわりを広げ、新たなものをつくりだそうとする資質

これらの資質や能力が身に付いた小学校図画工作科における感性がはぐくまれた児童の具体的な姿を次頁のように考えます。

### **対象をとらえる力**

対象をいろいろな角度から見たり、触れたりし、色や形、大きさ、手触り、対象そのもののもつ雰囲気などを自分なりに判断する  
対象を他のものと比べ、他との違いに気付く

### **想像力**

対象から受け取った感じから、自分なりにイメージを広げる  
自分で感じ、考え、思ったことをもとに、おもいや願いなどのイメージを広げる

### **創造性**

友だちの感じ方や見方、表現から学び、自分の感じ方や見方、表現に生かそうとする  
もっとよい表現にするにはどうしたらよいか考え、よりよい表現をしようとする

## 2 小学校図画工作科において感性をはぐくむ意義

図画工作科は、児童一人一人が心と体を十分にはたらかせて、自分らしい表現をおもいのままに試みながら、夢やおもいを色や形に表していく学習です。また、その過程において自己決定を繰り返しながら対象に自らはたらきかけて自分のおもいを発信したり、他者の感じ方や見方、表現を受信したりしながら、自分らしい表現を求めていく主体的な学習です。このような学習を重ねることをとおして価値あるものに気付く感覚や深く感じる心をはぐくむことができると考えます。また、自他の表現、感じ方や見方を認め合うことから視野を広げ、遠く離れた国、様々な時代の人々も自分と同じように表現することを楽しんだり、美しさにあこがれたりする気持ちをもっていることを理解することができるようにと考えます。小学校図画工作科において感性をはぐくむことは、社会性や豊かな人間性を養うことへとつながっていくものと考えます。

## 3 作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動の基本的な考え

作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動とは、ものや人とかかわり、自分では感じたり、気付いたりすることがなかった感じ方や見方、表現を知ることの喜びを味わいながら、自分の感じ方や見方、表現を広げていく活動であると考えます。このような活動を表現活動と関連させて行うことで、作品を見てイメージや表現を広げたり、表現活動の過程で経験した喜びや迷いなど完成した作品には残らないよさや美しさも含めて作品を見て一人一人のよさを認め合ったりすることができるようにと考えます。このような活動を繰り返すことで、身の回りにある様々なもの、時代や場所を隔てた作品などに目を向け、作者のおもいにも心を馳せながら自分なりの見方で作品とかかわりを持ち、よさや美しさを感じ取ることができるようにと考えます。また、自分を大切にし、他者を尊重する心を学ぶことができると考えます。

## 4 作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動の進め方

作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動をとおして感性をはぐくむ学習は、児童一人一人が「見てつくる、作りながら見る」を繰り返し、自分のおもいを色や形に表現する楽しさを味わいながら、作品のよさや美しさを感じ取り、感じ方や見方を広げていく学びです。

本研究では、作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動を表現活動と関連させた活動の段階を「発想（おもいをもつ）」「構想・表現（おもいをふくらませ表す）」「鑑賞（おもいを味わう）」とし、それぞれの段階について次頁のように考えます。なお、児童一人一人が感じたことや考えたことなどが安心して出し合える共感的な雰囲気のなかでそれぞれの活動が展開するよう配慮することが大切です。

発想（おもいをもつ）段階
初めて題材と出会い題材名から想像を広げたり、材料に触れたりしながらかきたいものやつくりたいものを考える導入の段階である。この段階で参考作品を見て一人一人が感じたことを述べ合うことで、かいたりつくったりするものに対するイメージを広げる。
構想・表現（おもいをふくらませ表す）段階
どんなことを表現するか、どんな方法で表現するかなどを考え自分のおもいやイメージに近づけるよう試行錯誤を繰り返しながら表現していく段階である。この段階で表現途中の作品を見合い互いのよさや美しさを伝え合うことで、発想の面白さや表現方法による感じの違いに気付いたり、材料の生かし方を学んだりするとともに自分の表現を見直す。
鑑賞（おもいを味わう）段階
表現活動を振り返り、互いの作品を見合いよさや美しさを味わう段階である。この段階で、表現活動の過程で生まれた様々な行為や感情を含めて作品を見て感想を交流することで、作者のおもいに共感しながらそれぞれの作品のよさや美しさを認め合う。また、自分たちが経験した表現活動と関連ある作品を見て感想を述べ合うことで、鑑賞の対象を広げ、表現の多様性を知るとともに自分なりの感じ方や見方で作品を見たり、表現したりすることへの意欲をもつ。

### 5 小学校図画工作科における感性をはぐくむ学習指導試案

以上の基本構想をもとに、昨年度実態調査を行いました。その結果、図画工作科の学習に対する意識や、学習の状況、図画工作科の学習に対する願い、作品を見た感想の傾向などが明らかになりました。このことを作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動に取り入れ、小学校図画工作科における感性をはぐくむ学習指導試案を下の【図1】のように作成しました。

段階	表現活動	鑑賞活動
発想 おもいをもつ	題材の学習における導入段階（第1時）に行う。 題材にかかわる参考作品を見せ、感想を述べ合わせることでイメージを広げ、表現活動への意欲を引き出す。  題材名から想像させたり、材料にふれさせたりしながら、かきたいものやつくりたいものを考えさせる。	
構想・表現 おもいをふくらませ表す	どんなことを表現するか、どんな方法で表現するかなど、活動の進め方について自己決定させ、自分のおもいやイメージに近づけるよういろいろ試しながら表現させる。  構想・表現の途中に行う。 試行錯誤しながら表現を進めていく途中で、互いの作品を見て、気付いたよさや美しさを伝え合わせることで、他者の表現から学んだり、自分の表現を振り返ったりさせる。  他者の材料の選び方や生かし方、色や形の使い方や組み合わせ方などを参考にして、自分のおもいやイメージに近づけるよう表現させる。	
鑑賞 おもいを味わう		題材の学習の最終時に行う。 互いの作品のよさを認め合わせる。表現活動の過程で生まれた様々な行為や感情を含めて、感じ取ったよさや美しさなど感想を交流させる。 また、表現活動と関連ある作品を探させたり、見せたりして感想を述べ合わせることで、様々な表現に気付かせ、感じ方や見方を広げていく。

【図1】小学校図画工作科における感性をはぐくむ学習指導試案

# 授業実践

## 1 授業計画

次のような授業計画案を作成し、研究協力校において授業実践を行いました。

1	題材名	自然からのおくり物づくり隊(たい) ぼくらはネイチャーアーティスト(第5学年 6時間)	A表現(2)絵や立体に表したり、つくりたいものをつくったりする				
2	題材の目標	木の枝の形や色、手触りなどから自然素材のもつ温かさやおもしろさなどを感じ取り、感じ取ったことや材料から想像を広げ、今まで学習してきた表現方法から自分のおもしろいイメージに合う方法や材料を選択したり、今までの学習をもとに工夫したりして表現する。					
3	評価の基準	造形への関心・意欲・態度 発想や構想の能力 創造的な技能 鑑賞の能力	木の枝の形や色、感触などから感じ取ったことや想像したことを自分なりに表現することを楽しもうとする。 それぞれの作品と作品に込められたおもしろいよさや美しさなどを感じ取る。 木の枝の形や色、感触などから発想して、自分なりの構想をもとに表現する。 自分のおもしろいイメージに合わせて、今まで学習した方法や材料などから選択し、工夫して表現する。 自分たちの作品や自分たちの表現活動と関連する作品の意図を想像したり、特徴を感じ取ったりしながら見る。				
4	指導計画(6時間)						
段階	表現	鑑賞	時間	ねらいと活動内容	指導上の留意点	評価の規準と評価方法	準備
発想 おもいをもち 45分	鑑賞	表現	1	参考作品を見て作品のよさに気付くとともに、自分の表現したいもののイメージをもつ (1) 題材にかかわる参考作品を鑑賞し感じたことを述べ合う (2) 材料の特徴をいかして、表現したいものを考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材のテーマと材料や表現の方法について提案することができるような参考作品を2~3点鑑賞させる</li> <li>感じたことややってみたいことのイメージが広がるよう、参考作品を自由に見たり触れたりさせる</li> <li>学習カードに感想を書かせ、それをもとに感じたことや思ったこととその理由を発表させる</li> <li>材料に触れ、「こんなふうに見える」「こんなことができそうだ」と思うことをできるだけたくさん出し合うようにさせる</li> </ul>	<p>(み) 参考作品を見たり触れたりして、直感的に感じたことや、表し方のよさや面白さなどについて話したり、文章に表したりしようとする (発表・鑑賞・学習カード)</p> <p>木の枝の形や色、大きさや手触りなどから想像を広げて表現したいものを考える (観察・学習カード)</p> <p>作品の意図や特徴をおもしろいままに感じ取り、表し方の違いに関心をもって見る (発表・学習カード)</p>	教師 参考作品・学習カード・のこぎり・ボンド・きり・くぎ・金槌 木の枝・木の実 釘抜き・ガムテープ・段ボール 毛糸・紙粘土・ひも・針金 児童 筆記用具
			2 3	つくりたいものに合わせて工夫して表現したり、互いのよさを見つけたりする (3) 自分の表現したいイメージに合わせている試しながら表現する (4) 互いの作品を見合い、表現のよさを伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の気持ちに寄り添い、どんなイメージやおもしろいを抱いているのかを引き出し、何を表現するか、何をを使うか、どんな方法で表現するかを自己決定させる</li> <li>使用する道具や材料の安全な扱い方について指導する</li> <li>相談したり教え合ったりしながら表現してよいことを確認する</li> <li>表現に使用するであろう材料や道具を予想し準備する</li> <li>自分の表現に使いたい材料を身近なものの中から探させる</li> </ul> <p>きりりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに互いの作品を見て、気付いたよさを見つけて付箋紙に書き、観点を示した学習カードにはる</li> <li>カードに書かれたことを観点ごとに整理し、それを参考に自分の作品と表現へのおもしろいを発表し合う</li> <li>全員の作品を見て気付いたよさを伝える</li> </ul>	<p>(2) 発想したことを表現するために、やり直したり、新しい表現方法を試みたりしようとする (観察・学習カード)</p> <p>材料や用具、表し方などを試しながら、発想したり、新たな方法を考えたりして表現するものや方法の見通しをもつ (観察・学習カード)</p> <p>表現したいものに合わせて、これまで経験した表現方法や材料・用具の扱い方を生かして安全に注意しながら自分なりの方法で表現する (作品・観察・学習カード)</p> <p>表現の意図を想像したり、感じ方や見方、表し方のよさなどを 感じ取ったりする (観察・学習カード)</p>	教師 学習カード・軍手・のこぎり・ボンド・きり・くぎ・金槌・木の枝・木の実・釘抜き・ガムテープ・段ボール・毛糸・紙粘土・ひも・針金・付箋紙 児童 自分の表現に使う材料・軍手・筆記用具
鑑賞 おもいを味わう 45分	鑑賞	表現	4 5	鑑賞したことを生かして自分なりに工夫して表現する (5) 他者の表現から学んだことや、自分の表現を見直したことを生かして表現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の作品に寄せられた感想や、友だちの作品を見て学んだこと、思いついたことを表現に生かすようにさせる</li> <li>自分の作品の見てもらいたい点について話し合い、その項目にそって作品紹介文を書かせる</li> <li>自分の作品が生きるとなるような展示を考えさせる</li> </ul>	<p>(2) 表現したいことを自分なりの表し方で表現し、表現活動の楽しさを味わおうとする (観察・学習カード)</p> <p>自分がつくりつつある作品の特徴や木の枝や他の材料の生かし方を振り返り、構成の美しさや面白さなどを考える (作品・観察・学習カード)</p> <p>友だちの感じ方や見方、表し方などから学んだことや、自分の表現を振り返ったことを生かし、新たな方法を試すなどして表現する (作品・観察・学習カード)</p>	
			6	さまざまな作品のよさや美しさを感じ取り、互いの感じ方や見方を認め合う (6) 作品とおもしろいを鑑賞し、感想を交流する (7) 表現活動と関連ある作品を鑑賞し感想を述べ合う	<p>きりり美術館パート1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の作品と作品紹介文を一緒に展示する。またテーマごとに展示するなど鑑賞の場を工夫する</li> <li>おもしろい表現をつなげて見ることができるよう2~3人作品を全員で鑑賞し鑑賞の視点を示し、その後その視点を中心に自分なりの感じ方や見方で見た感想を言葉や文章で交流させる</li> </ul> <p>きりり美術館パート2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品を身近なところから探して持ち寄せたり、児童が身近に感じられる作品を提示したりして見せ感想を述べ合わせる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>かご、リース、看板、ベンチ、ゴールズ・ワーシーの作品、教科書に載っている作品などを鑑賞させる</li> <li>作品に対する評価だけでなく、表現活動や鑑賞活動に対する態度についても評価するようにする</li> </ul>	<p>(み) 友だちの感じ方や見方に共感したり、一人一人の感じ方や見方、表現の違いを感じたりしながら作品を見ようとする (発表・観察・学習カード)</p> <p>(め) 自ら見つけた表現活動とかかわりのある作品を紹介し合い、友だちの感じ方や見方に共感したり、自分の感じ方や見方を大切にしたりしようとする (見つけた作品・発表・観察・学習カード)</p> <p>材料や用具の生かし方、表現の意図とそれを表現するための工夫などに着目して作品を見る (観察・学習カード)</p>	教師 学習カード・付箋紙・鑑賞作品 児童 筆記用具

評価  
●●は造形への関心・意欲・態度

は発想や構想の能力

は創造的な技能

は鑑賞の能力

(注)  
●●造形への関心・意欲・態度は、表現することへの関心・意欲・態度  
●●造形への関心・意欲・態度は、鑑賞への関心・意欲・態度を示す。




評価規準・評価方法等の研究開発(中間整理)内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例による

表	造形への関心・意欲・態度
現	発想や構想の能力
	創造的な技能
鑑	造形への関心・意欲・態度
賞	鑑賞の能力



2 授業実践の概要

前頁の授業計画に基づき、研究協力校において授業実践を行いました。研究仮説の(1)(2)(3)にかかわる学習活動をそれぞれ次のように展開しました。

1時間目	参考作品を見て作品のよさに気付くとともに、自分の表現したいもののイメージをもつ学習活動 (おもいをもつ段階)	教師の発問(ゴシックは仮説に関わる支援)
<p>表 現</p> <p>鑑 賞</p>	<p>児童の反応</p> <p>階段であがっていくんだ。ベットもある</p> <p>ぼくもこんな面白い家に住みたい</p> <p>これ、面白い形の木だなあ</p> <p>ほうきのはくところをつかってる</p> 	<p>「みなさんの学校の周りにある林には、たくさんの木の枝や木の実が落ちています。これを見ているうちに、何か新しいものに生まれ変わらせることはできないかなあと考えました。落ちている木の枝や実を使ってつくった作品を見てもらいます。」</p>
	<p>「ジャングルのなかで、こんな家に住みたいな」</p> <p>この目や背中に付いてるのは松ぼっくりだ</p> <p>ふわふわした上にいるから赤ちゃんかな</p>	<p>「触りながら見ても、話しながら見てもいいです」「班ごとに5分ずつ見ます。作品を見て感じたことや思ったことを学習カードに書きましょう。」</p>
	<p>「不思議な感じがした」</p> <p>しっぽの形がおもしろいね。不思議な感じがした</p> <p>下にしいてる木がふわふわだ。やわらかい</p> 	<p>発想のちがう参考作品3点を提示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ジャングルのなかで、こんな家に住みたいな」(木を見たり、触ったりしているうちに想像したこと)</li> <li>・「木の枝から生まれた不思議な生き物」(木の形から思いついたこと)</li> </ul>
	<p>「木の枝から生まれた不思議な生き物」</p> <p>段ボールをつかってるんだ</p> <p>木の実の赤い色が目立ってきれいだ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私の思い出を飾るフォトフレーム」(木を触ったり、においをかいだりしているうちに思い出したこと)</li> </ul>
	<p>「私の思い出を飾るフォトフレーム」</p> <p>木の枝をフレームにするなんて面白い</p> <p>かべに飾れるようになってるんだ</p> 	<p>「感じたことや思ったことを発表しましょう。」</p>
<p>「木の枝でいろんなものをつくって面白かったです。」</p> <p>「耳のところが不思議な生き物だと思った。本当の生き物みたいに動きそうです。」</p> <p>「木の実と松ぼっくりの組み合わせがきれいに見えました。」</p> <p>「木の階段とかあるのが、いかにも野生って感じがします。」</p> <p><b>自然からのおくりもので作り隊(たい)</b> <b>ぼくらはネイチャーアーティスト</b></p>	<p>「材料の使い方、色、形などたくさんのことに気付きながら見ましたね。」</p> <p>「木の枝や木の実など、自然からの贈り物がまだたくさん</p>	

鑑賞

「わあ、いろんな形の木が たくさんある。」



「これ、面白い形だ」  
「これへビみたいだねじれてる。」  
「これで、なにかできるかなあ。」  
「こっちの木は色がちがう。」  
「ねえ、見て。この木とこれをくっつけると面白い形になるね。」

「すご~い、いっぱいある。気に入ったのをつかって何かつくろう。」

「なんか、自然のなかのにおいがするね。」

「この木、こうするとゆらゆら揺れるよ。」

「決めた。私は、木を使ってブランコをつくりたい。」

「材料がいっぱいあってうれしい。」

「私は、ぐにゃぐにゃした木を使って不思議な生き物をつくりたい。」

「私が今つくりたいと思っているのはいろんな形の木を使った小物入れです。」「まだ決まっていません。来週また木を選びながら考えたいです。」

「いろんな木に触ってつくるもの考えたのが面白かったです。」「自然のものを使った作品を見たのがおもしろかったです。」

「完成がとても楽しみです。」



あります。みんなも自然の芸術家になって何かつくってみましょう。」

「材料を触ったり、組み合わせたりしながら、どんなものに見えるか、どんなことをやってみたいか考えましょう。まわりの人と話し合っても、相談してもかまいません。」

材料を種類別に材料コーナーに提示

- ・細い木の枝
- ・太い木の枝
- ・いろいろな形に切った木の枝
- ・木切れや麦の穂、松ぼっくりなど

「いろいろな方向から見たり、組み合わせたりしてごらん。」

「どんなことをやってみたいか発表しましょう。」



「今日の学習の自己評価して今日の学習の感想を発表してください。」

「こんなものを使いたいと思うものがあったら次の時間までに用意しましょう。」

表現

観察

### 3時間目 つくりたいものに合わせて工夫して表現したり、互いのよさを見付けたりする学習活動 (おもいをふくらませず段階)

表現 鑑賞	児童の活動の様子	教師の発問(ゴシックは仮説に関わる支援)
<p>表現</p> <p>観察</p>	<p>のこぎりコーナー</p> <p>「ここをちゃんとおさえないと切りにくいよ。おさえてあげる」</p> <p>「足でおさえるといいよ。」</p> <p>「ここがくっつきにくいんだよね。どうしよう。」</p> <p>「そうだ、せんとくばさみでおさえておこう。」</p>  	<p>「今日はいろいろな道具を使うので約束してほしいことがあります。みんなでする物は箱の中に入っています。使い終わったら必ず箱にしまいましょう。道具は必ずその道具のコーナーで使います。紙に書いてある注意を守って正しく使しましょう。」</p> <p>・道具の正しい使い方を写真と文で提示</p> <p>「班の人の作品を見ていいなあと思ったことを見付けて付箋紙に書いて、材料の使い方・アイディア・つくり方・見た感じ・</p>

観察

鑑賞

きらりタイム



Nさんへ  
木の実を飾りにつけたのが、木のブランコらしくてかわいい感じがするね。 Aより



Sさんへ  
いろいろな大きさや形の木をたくさん使ってつくってるね。材料のバランスがいいと思う。 Nより

Oさんへ  
変な生物の耳が松ぼっくりのへんてこさで変な生物らしくてよかった。使い方がいいね。 Tより

Kさんへ  
生き物の足が木の形をうまく使っていて工夫してるね。 Nより

その他のところに貼ります。」  
「班の人からもらった感想を読んで感じたこと、自分の作品についてこんなふうにつくりたい、ここを工夫しているということを発表しましょう。」  
「他の人の作品をみて、いいなあとと思うところを付箋紙に書いて伝えましょう。話しながら見ていいです。」  
・ ~ までBGMを流しながら活動

「大好きな友だちと住めるところにこんなものがあたらいいなとか思っつつくってます。そう思うとアイデアが浮かびます。」  
「うまいかないところがあったけどかわいいと言われてうれしかったです」

6 時間目 さまざまな作品のよさや美しさを感じ取り、互いの感じ方や見方を認め合う学習活動 (おもいを味わう段階)

表現	鑑賞	児童の活動の様子	教師の発問 (ゴシックは仮説に関わる支様)
	<p>「今日は、みんなの作品を見る時間です。はじめに2人の作品を見ましょう。」・つくろうと思ったわけ・つくったものの説明・工夫したところや苦労したところを聞きましょう (前時学習カードに記入済み)</p> <p>きらり美術館パート1</p> <div data-bbox="303 1265 638 1512"> <p>別世界という題なんだけど、何だかアフリカのような感じがしていい</p> </div> <p>自然の材料と針金という自然ではない材料をうまく組み合わせて、輝くような自然のなかで人や動物が楽しく遊んでいる世界をととてもよく表現していますね。</p> <div data-bbox="303 1736 638 1982"> <p>見た感じとってもきれいな景色です</p> </div>	<p>「ぼくは、最初戦車をつくらうと思ったんだけど、木を触ったり見たりしているうちに、自然のものがいいかなと思って自然のものや動物をつくりました。動物や人がたくさん遊ぶ自然の様子を松ぼっくりなんかを使ってつくりました。針金で松ぼっくりを止めて木のように見せるのがむずかしかったです。」</p> <div data-bbox="694 1444 909 1646"> <p>自然がいっぱいって感じがよくでてると思う。楽しそうな感じがする。</p> </div> <div data-bbox="917 1444 1133 1646"> <p>松ぼっくりに針金をつけていたアイデアがいい、きれいだ。</p> </div> <div data-bbox="1141 1444 1412 1646"> <p>木に穴をあけて草を入れたところが本当に生えているようにいいと思った。</p> </div> <p>「はじめは、ゲームにしようと思っていました。でも、木を組み合わせたりしているうちに風景をつくらうと思いました。雪が降って楽しい冬をついたら、今度は春を悲しい不思議なような感じにつくりたくなりました。冬と春を分けるようにつくりました。」</p> <div data-bbox="694 1892 1061 2072"> <p>粘土はしぜんのものじゃないのに、白だから、木の上にあると自然って感じがします。</p> </div> <div data-bbox="1077 1892 1412 2072"> <p>アイデアとして、とってもきれいかざってあっていいなあと思いました。</p> </div>	

鑑賞



はじめは冬が雪が降ってきれいでいろいろな遊びができるし楽しいのは分かるけど、何で春がさみしいのかなと思ったんだけど、雪が解けて花が咲く前って色がなくてさみしい感じがするなと思いました。 さんはそのことをイメージしたのかな。そのおもしろい色や材料を工夫して使うことで作品によく表れていますね。今、みんなが言ってくれた アイディア・思い（付箋紙・青） 素材の生かし方（黄色） つくり方、色や形の組合わせ方（紫）に加えて、その他として、見た感じやつくる途中で頑張ったこと（ピンク）を中心にみんなの作品を鑑賞しましょう。

みんなの作品を見たり、自分の作品にもらった感想をよんで思ったことを発表しましょう。

みんないろいろなアイディアをもっていて、同じアイディアの人がいなかったと思う。

みんなの思っている世界が作品によく出ていたと思う。ぼくも自分なりに頑張ったと思う。

一人一人がとってもいいアイディアだった。見ててあきない作品だ。

ぼくのいいところを見つけているんなことを書いてくれてとってもうれしいです。

### きらり美術館パート2

みんなが見つけてきた作品や先生が見つけてきた作品を鑑賞しましょう。

- ・「これは竹でできてるんだ。」
- ・「こういうのぼくの家にもあった。」
- ・「これは、山のものじゃなくて、海の石と珊瑚でできてるんだ。」
- ・「自然のものでできてるものって結構たくさんあるね。」
- ・「これ、白くてすべすべの木でできてるみたい。」
- ・「曲がった木をうまく使って看板にするなんておもしろいね。」
- ・「わあ、不思議な鳥に見える。」
- ・「なんだか、この穴の中に吸い込まれそう。中に何かいそうだよね。」
- ・「むこうがわに手品師がいるような不思議な感じがするね。」
- ・「いろんな色の葉っぱを使ってこんなこともできるんだ。おもしろいこと考えるね。」
- ・「葉っぱを重ねてカタツムリみたいにすると本物みたいに見える。動きそう。」

みんなの作品を見たり、みんなや先生が見つけた作品を見たりした感想を書きましょう。

なんかいろいろな人がいるいろいろなアイディアでつくってるのを見ておもしろかったです。

自然のものをつかって、こんなにすごいものができるなんてびっくりしました。楽しかったです。

きらり美術館は、みんなの作品を見るところなのでとっても楽しいです。もっと見たいです。

人がつくったものを見るのがとっても楽しかったです。一人一人個性があっけよかったです。

自然だけのものとかで、こんなにおもしろいものやすごいものができるんだなあと思いました。

7 本時の指導 ( 1 / 6 )

( 1 ) 本時のねらい

参考作品を見て、作品のよさに気付くとともに、自分の表現したいもののイメージをもつ。

( 2 ) 評価規準と評価方法

	(み) 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	鑑賞の能力
	発表・観察・学習カード	観察・学習カード	発表・学習カード
A	参考作品を見たり、触れたりして、直感的に感じたことや表し方のよさや面白さ、作者の思いや意図などについて話したり、文章に表したりしようとする	木の枝の形や色、大きさや手触りなどから想像を広げ、さらに再構成して新しい発想を広げ、表現したいものを考える	作者の意図や特徴を思いのままに感じ取り、それぞれの作品の材料の生かし方や組み合わせ方、色の組み合わせなどに、気付きながら見る
B	参考作品を見たり、触れたりして、直感的に感じたことや表し方のよさや面白さなどについて話したり、文章に表したりしようとする	木の枝の色や形、大きさや手触りなどから想像を広げて表現したいものを考える	作品の意図や特徴を思いのままに感じ取り、表し方の違いに関心をもって見る
C	参考作品を一方向から見て直感的に感じたことや表し方のよさや面白さなどについて他者に促されて話したり、文章に表したりしようとする	木の枝の形や色、大きさや手触りなどから表現したいものを考えるよう促されながら表現したいものを考える	それぞれの作品の表し方の違いを見るように促されながら見る

- A 十分満足できる
- B おおむね満足できる
- C 努力を要する

7 本時の指導 ( 2 ・ 3 / 6 )

( 1 ) 本時のねらい

つくりたいものに合わせて工夫して表現したり、互いのよさを見つけたりする

( 2 ) 評価規準と評価方法

	( 1 ) 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	観察・学習カード	観察・学習カード	作品・観察・学習カード	観察・学習カード
A				
B	発想したことを表現するために、やり直したり、新しい表現方法を試みたりしようとする	材料や用具、表し方などを試しながら、発想したり、新たな方法を考えたりして表現するものや方法の見通しをもつ	表現したいものに合わせて、これまで経験した表現方法や材料、用具の扱い方を生かして自分なりの方法で表現する	表現の意図を想像したり、感じ方や見方、表し方のよさを感じ取ったりする
C				

- A 十分満足できる
- B おおむね満足できる
- C 努力を要する

7 本時の指導 ( 4 ・ 5 / 6 )

( 1 ) 本時のねらい

鑑賞したことを生かして自分なりに工夫して表現する

( 2 ) 評価規準と評価方法

	( 2 ) 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
	発表・観察・学習カード	発表・観察・学習カード	発表・学習カード
A			
B	表現したいことを自分なりの表し方で表現し、表現活動の楽しさを味わおうとする	自分がつくりつつある作品の特徴や木の枝や他の材料の生かし方を振り返り、構成の美しさや面白さなどを考える	友だちの感じ方や見方、表し方などから学んだことや自分の表現を振り返ったことを生かし、新たな方法を試すなどして表現する
C			

A 十分満足できる

B おおむね満足できる

C 努力を要する



7 本時の指導 ( 6 / 6 )

( 1 ) 本時のねらい

様々な作品のよさや美しさを感じ取り、互いの感じ方や見方を認め合う

( 2 ) 評価規準と評価方法

	(み) 関心・意欲・態度	(み) 関心・意欲・態度	鑑賞の能力
	発表・観察・学習カード	見つけた作品・発表・観察・学習カード	発表・学習カード
A			
B	友だちの感じ方や見方に共感したり、一人一人の感じ方や見方、表現の違いを感じたりしながら作品を見ようとする	自ら見つけた表現活動とかわりのある作品を紹介し合い、友だちの感じ方や見方に共感したり、自分の感じ方や見方を大切にしたりしようとする	材料や用具の生かし方、表現の意図とそれを表現するための工夫などに着目して作品を見る
C			

A 十分満足できる

B おおむね満足できる

C 努力を要する

環境構成

小さい枝、木のけずりかすなど

様々な大きさの木を輪切りにしたもの

小さめの木の枝

大きめの木の枝

作品置き場（班ごと）

4 班

5 班

6 班

1 班

2 班

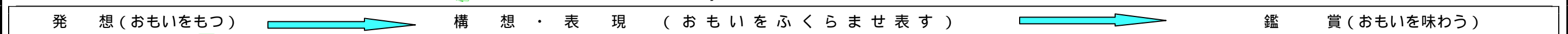
3 班

参考作品  
木の枝から生まれた不思議な生き物

参考作品  
わたしの思い出をかざるフォトフレーム

参考作品  
ジャングルのなかでこんな家に住みたいな

黒板  
題材名 木の枝から想像したこと  
家 フォトフレーム 夢・思い 生き物



**発想 (おもいをもつ)**

上の方にある実がかわいい。自分だったらもっとすごい飾りをつけたいなと思ってしまいました。

しっぽのくるくんが気に入ってしまった。

ほんとうにジャングルにあっらびっくりするかも。バンジージャンプみたいなのがすごい。もっとしかけがほしいな。

えらんだぐにやくにゃの木の枝で、なんかふしぎな生き物を作りたいなあ。

**構想・表現 (おもいをふくらませ表す)**

f児 船をつくるんだけど、へんになってきちゃった。

g児 家をつくらうと思ってるんだけど、なかなかうまくいかない。

何をくつてるかまだ分からないけど、とにかくすごいものができそう。(見た感じ)

なんか、もっとすごいアイデアがほしい気があるなあ。(アイデア)

そういう木っておもしろいね。(材料の使い方)

家の近くにてんぼう台をつくっちゃうアイデアがすごい!(アイデア)

きらりタイム

ただ、直感的につくってたら、何ともいえない生物になってきた。どんなふうにできあがるかなあ。

なにか、とってもおもしろい生き物だね。できあがるとうなるのかな。

しっぽの白いわたとそれにつけてるビーズ、とってもいいね。きれいだ。

J児から他の班の児童へ

こういうふしぎなものをつくるなんてすごい。

ビーズの使い方がきれい。

h児 大すきな友だちと住めるところにこんなものがあったらいいなと思うとすぐアイデアがうかぶ。

i児 この生き物の名前はボチです。でも、犬ではありません。変な生き物です。

**鑑賞 (おもいを味わう)**

木のプラコがちゃんと空中に浮かんでつくり方が工夫しててすごい。黄

船を木でつくるのに、ちゃんと船らしく見えるところがすごい。青

木の使い方がとてもいい。木の皮も使っていてカーブになってておもしろい。黄

ゆれるベットなんてすごい。よく思いつくね。木をうまく使ってるね。青

雪だるまの表情がかわいくていいね。楽しい感じがする。ピンク

みんなユニークなものをつくるなあと思いました。とても楽しかったので、またこういうのをやってみたいです。

きらり美術館

作品名 実りの使者

1 作るうと思ったわけ  
くるんとなった木があって、なんだか気に入って「これを使って作りたい」と思ったから。

2 つくったものの説明  
いろんなところに実りがあって、見ていると何だか楽しくなる。洗たくばさみは何かをかわかすときに使うものを意味してます。

3 工夫したところや苦労したところ  
目をひもでくっつけたところです。

mより 見た感じとっててもおもしろいよ。ピンク

vより いろんな木がくっついて、とてもいい木の使い方だと思った。青

oより まがった木をうまく使ってるなと思った。青

より 木の枝の先にわたとビーズをくっつけているのがいいかんじです。黄

より 長い枝にわたやビーズをつけていたアイデアがふしぎな感じがしていい。青

J児の学習の様子と考察

はじめに小さく短い枝のところに行き、何本か手にしては置いていた。結局枝は選ばなかった。次に、長い枝のところに行き、つると曲がった枝を手に取り「これ、おもしろい。」と言いながら自分の席にもってきた。つるの一部分だけが欲しかったらしく「どうすればいいの」と聞きに来た。「絡まっているのだからねじりながらとって必要な部分だけを使えばいいのではないか。」と話す。早速必要なつるだけをとった。それに加え、二股になった枝、松ぼっくり麦の穂などを選んだ。「不思議な形の枝が気に入ったから、これで何か不思議な生き物を作りたい」と、一時間目の終わりから表現した。木の枝から受け取った不思議な感じから自分なりのイメージを広げ、不思議な生き物をつくることを思いついたと考える。

途中から三つに分かれている白っぽい枝を選び、ところどころに白綿を付けビーズを飾った「不思議な生き物だから見たことのないしっぽにした」と丁寧に付けていった。表現しながら不思議な生き物のイメージを自分なりに広げ、しっぽや目など工夫して表現していった。

きらりタイムでは、見た感じから受けた印象や、アイデアのよさなどについて感想を記述した。「友だちのつくってるのを見ると、同じ材料なのに、いろんなことを考えてすごいね。」と感想を述べた。同じ材料から表現している作品を鑑賞することで、友だちの感じ方や見方、表現の工夫にふれると

ともに、自分なりの表現への意欲をもつことができたことと考える。

生き物の目をつけるとき、ガムテープを使っていたが気に入らないうまく何度かやり直した「他の接着方法を考えてみてごらん。他の人の接着方法を見ておいで。」と促すと、松ぼっくりを木の枝にひもを使ってぶら下げている児童のやり方を見て、ひもを使って接着する方法を選択し「これでつけれ。」と言って結び始めた。しかし、ひもの太さが気になるらしく、ひもをねじりつつ細くし、松ぼっくりを木の枝に結びつけた。完成した作品には「実りの使者」という題をつけた。秋の実りいっしょの生物という意味である。また、自分の表現した作品の雰囲気に合わせて屋外の花が咲いていて木の実がなっているところにつるして飾りたいと考えた。自分のおもいや完成した作品の雰囲気にあわせて題や飾る場所を考えることができた。

きらり美術館では見た感じだけでなく、材料の特徴を生かした表現のよさや、技能面にもふれた感想などを記述している。また、学習終了後の感想には、表現活動の充実感とともに、一人一人の表現、感じ方や見方の違いを認める記述をしている。さらには、次の学習への意欲についても記述している。このことから、木の枝やその他の材料をよく見て、感じたことからイメージを広げて表現するとともに、他者の感じ方や見方から学んだことを生かし、自分の感じ方や見方、表現を広げていこうとする姿をとらえることができる。

# 小学校図画工作科における感性をはぐくむ学習指導試案の妥当性の検討

授業実践をとおして、学習指導試案の妥当性をみるために、次のように検証しました。

## 1 小学校図画工作科における感性の状況

作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動を取り入れた図画工作科の学習において「対象をとらえる力」「想像力」「創造性」の三つの観点での事前事後調査及び実践過程での観察から小学校図画工作科における感性の状況をみることにします。

### (1) 「対象をとらえる力」について

「あったらいいな、こんな島」という題材で表現した「自然と遊びがいっぱいの島」という作品を鑑賞して、感じたことを思いっただけ記述させたものを観点別に分類し、まとめたものが【表1】の対象をとらえる力の状況です。鑑賞作品を【資料1】、児童の記述の具体例を【資料2】に示します。

【資料1】鑑賞作品



「自然と遊びがいっぱいの島」

【資料2】対象をとらえる力に関する児童の記述の具体例

児童	前	後
A	前	・貝やビー玉を使ってきれいだなあと思った。 ・山の上にいる鳥の上に人が乗っていて楽しそうな感じがする。 ・海の上に浮かんでいる島がとてもきれいで自然がいっぱいという感じでした。
	後	・色の使い方がいろいろまざっていいと思った。 ・本当にはない不思議な木があっておもしろいなと思いました。
B	前	・山の表し方を工夫している。 ・山の色づかいが草の色がすごくわかりやすい。 ・海の様子でビー玉を使ってきれいに見せているのが自分の参考になった。
	後	・海に浮かんでいるところで、ビー玉などを使ってきれいだった。 ・山の土台にいるんなパックを使って再利用していたのがいいと思った。 ・でっかい生物がなんだかふしぎな感じでおもしろい。 ・山の上にある家から見たら、見はらしがよさそう。 ・山の色使いがうまい。自然の感じがでてる。 ・海の近くに木をおいて、きれいな感じがする。 ・人間がのれそうな船があって、現実的。 ・キリンや川なんかの色のぬり方や色使いもうまい。

【表1】対象をとらえる力の状況


N = 28

児童	記述の分類の観点							記述数の合計			記述した種類							
	色	形体(形)	材料	技法	構成	雰囲気	事前	事後	変化	事前	事後	変化						
a			5	5	1	1			6	7	+	2	3	+				
b	1	1	2	1	2	2			5	4	-	3	3					
c	1	2	1	2		4		1	3	1	5	10	+	3	4	+		
d		1	2	1		1			2	2	4	5	+	2	4	+		
e			2				1	4	4	6	7	10	+	3	2	-		
f		1			3	4			2	1	5	6	+	2	3	+		
g	4		2	3	2	1		1	8	5	-	3	3					
h	1	1	2	3	2	2			4	3		9	9		4	4		
~~~~~																		
p			1	1	3	1			1	4	5	6	+		3			
q		2	3	1	1	3			4	2	8	8		3	4	+		
r	1	1							2	1	3	2	-	2	2			
s			1				2	2	2	4	5	6	+	3	2	-		
t	1			2	3	4			4	6	+	2	2					
u						2			3	1	3	3		1	2	+		
v	2	3							3	2	5	5		2	2			
w					6	5		1	6	6		1	2	+				
x			3	7	1	1	1	1	1	5	10	+	3	4	+			
y		1	1						3	1	4	+	1	2	+			
z	1	1	3	4		4	1		1	5	10	+	3	4	+			
	1	1			3	1			3	4	5	+	2	3	+			
						3				1	5	+	1	3	+			
計	19	25	1	4	36	34	36	49	6	11	39	52	137	175	+16	69	82	+13
															-3			-3
															丸9			丸12



【表1】をみると、記述の分類の観点の合計が増加していることが分かります。記述数の合計が増加した児童は16名、観点が増加した児童は13名です。児童の記述の具体例をみると、A児は、事前は材料のみの記述だったのに対し、事後は、作品全体や表現されているものから受ける雰囲気や色づかい、現実にあるものとの比較などを記述しています。B児は、事前は材料や色、技法の記述でした。事後は、材料の記述に、隠れて見えないところに気付いた記述がみられます。また、事前に気付いていなかった表現されているものについての記述や表現から受ける感じについての記述もみられます。記述数に変化がなかった児童についても、事前と事後の記述の観点が変化したり、同じ観点であっても事前にはない記述がみられたりします。このことから、児童は、対象を見たり、触れたりして、特徴に気付いたり、表現されているものの雰囲気などを感じ取っていることがわかります。

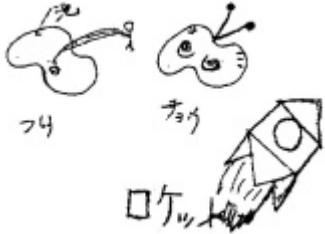


(2) 「想像力」について

二つの形(  )から思い浮かんだものをできるだけたくさん描画させる調査(想像力(1))と馬の絵から想像したことを文や絵で表現する調査(想像力(2))を行いました。想像力(1)の状況を【表2】に、児童の描画の具体例を【資料3】に示します。想像力(2)の状況を次頁【表3】に、児童の描画の具体例を次頁【資料4】に示します。

【表2】をみると「曲線図形」は12名、「三角形」は21名描画数が増加しています。これは、形を

【表2】想像力(1)の状況 N = 28

児童	曲線図形			三角形		
	事前	事後	変化	事前	事後	変化
a	1	2	+	0	3	+
b	1	1		3	3	
c	1	3	+	3	3	
d	3	3		1	3	+
e	3	3		3	3	
f	0	2	+	0	1	+
g	3	3		0	2	+
h	2	3	+	0	3	+
~~~~~						
p	3	3		3	1	-
q	3	3		0	2	+
r	1	2	+	0	2	+
s	1	3	+	0	1	+
t	1	2	+	2	2	
u	3	3		1	3	+
v	2	2		0	1	+
w	3	3		1	3	+
x	3	3		3	3	
y	1	1		0	0	
z	3	3		1	3	+
	1	1		0	1	+
	0	1	+	0	1	+
計	54	69	+12 -0 なし16	24	60	+21 -1 なし6

		事前	事後
C	児童	曲線図形、三角形とも用紙を手にとってみていたが、描画なし。	曲線図形を池に見立て、釣り竿を垂らしている人と、羽に見立て蝶を描画。三角形からロケットを想像して描画。
		描画なし	
D	児童	曲線図形から亀とアヒルを想像して描画。三角形は描画なし。	曲線図形そのものの形から想像した水たまり、事前と同じように想像した亀、図形の角度を変えてゴーグルのレンズの部分で想像したものを描画。三角形そのものの形から想像した帽子、部分として想像した鳥のくちばし、ピエロの目と帽子を描画。
			

いろいろな角度から見て、全体ととらえて想像したり、部分ととらえて想像したりしたためだと考えられます。児童の描画例をみると、C児は、事前は5分間図形を見ていましたが描画しませんでした。事後は、5分間で「曲線図形」二つ、「三角形」一つを描画しました。見る角度を変えて「何に見え

るかなあ」と話しながら「三角形」「曲線図形」の順で描画しました。D児は、事前は「曲線図形」のみの描画でしたが、事後は「三角形」も描画しました。部分として想像したもの、全体として想像したもの、描画してある三角形にもう一つ大きい三角形をつけ足して想像したものを描画しました。

【表3】想像力(2)の状況

N = 28

児童	事前	事後
a	草原。馬を中央に貼る。馬の近くに羊を描画。	大きい馬を右下に貼る。その左斜めに小さい馬を二頭貼る。草原には花やトンボを描画。
b	牧場(柵で囲まれた草原)を描画。馬を左上に貼る。	柵で囲んだ左上に馬を貼る。その隣に小さい馬、草、上にサイロと家を描画。
c	母馬を描画し、そのそばに馬を貼る。	父母兄弟姉妹と記述した馬を中央に貼る。周りに柵、草を描画。
d	馬を中央上に貼る。馬に乗っている子どもとそれを見ている子どもを描画。	大きい馬二頭、小さい馬二頭をその下に貼る。馬を引いている子ども、馬に乗っている子ども、「かわいい」となでている子どもを描画。
q	子馬が蜂の群をしっぽで払っている。それを母馬、ウサギの親子、ネズミが笑って見ているところを描画。	「馬の鬼ごっこ」と題を記述。馬を三頭貼る。三頭の馬がウサギをけとばしたところを描画。それを見た一頭が「なにやってるの」と言い、もう一頭がありを踏んつけて「このんない」と言っているところを描画。
r	馬を左端に描画。女の子が笑って乗っているところを描画。	母とかいた馬を左端、子どもとかいた馬をその右に貼る。二頭ににこにこ笑った子どもが乗っているところを描画。
s	草原の中央に馬を貼る。遠くの木に鳥がとまっているところを描画。	馬を左に貼る。右側に象を描画。草を下に描画し、象に追いかけれ汗をかいて逃げる様子を描画。
t	馬を左側に貼る。上の方に家を二軒描画。	柵に囲まれた右下に馬を貼る。その上に家と魚が泳いでいる池、サイロ、牛、豚を描画。
u	木を描画。馬を左側に貼る。馬の視線の方にウサギを描画。	牧場の柵で囲んだ中に、馬の父母子を貼る。馬の親子と「なかよくあそんでいる」と記述して鶏の父母子を描画。

(注) 調査前に、馬の絵は大小あること、何枚でも使っていいことを説明した。

【資料4】想像力(2)の状況に関する児童の描画の具体例

児童	事前	事後
E児	馬の絵を中央に貼る。その右に小さい馬を、上の方に柵を描画。 	親子と想像される大小二頭の馬の絵を貼る。一緒に草原にある柵を乗り越えているところと、それを見て「とんだ」と言っている人を描画。 
F児	柵で囲んだ草原に馬を貼る。その他に五頭の馬と柵の外から見ている牛を描画。 	父母子とかいた馬を貼る。子馬に「よいしょ」父母に「がんばれ」と吹き出しをかき。それを見ていた柵の外にいる牛が「なかかいいなあ」と言っているところ、水やえさの入れ物を描画。 

【表3】をみると、事前は、草と柵を描き、馬の絵を貼るといふのどかな牧場の風景を思い起こさせるような描画が多いのがわかります。事後も、のどかな牧場の風景を思い起こさせるような描画が多いのですが、~~~~~のように吹き出しを入れたり、周りの様子や他の生物を描画したりしています。また、馬の絵を何枚ももっていき、馬の親子や仲良く遊ぶ馬たちとして想像を広げて描画しています。

【資料4】をみると、E児は、事前は馬の絵を中央に貼り、その視線の先に小さい馬を描画し、牧場にいる馬の親子の楽しげな様子を想像しています。事後は大小二枚の馬の絵を重なるように貼り、

その後ろに軌跡を表現する線を描き、牧場の柵を親子で飛び越えた瞬間を描画し、それをみて「とんだ」と言っている人を描画しています。F児は、事前は、子馬を見ている親馬を中心としたおだやかな牧場の風景を描画しています。事後は、中央に父母子と書いた馬の絵を貼り、矢印で「うまのおやこ」と書いています。子馬が生まれ「よいしょ」と立ち上がろうとしているのを父母が「がんばれ」と励ましなが見守る温かな雰囲気親子を描画しています。それを遠くから「なががいいなあ」と言いながら見ている牛も描画しています。

二つの調査から、児童は、対象から受け取った感じやこれまでの経験からイメージを広げて描画していることがわかります。

(3) 「創造性」について

アルミ缶を使いどんなものをつくってみたいかを思いっただけ絵や文で表現させたものを観点別に分類し、まとめたものが【表4】の創造性の状況です。児童の描画の具体例を【資料5】に示します。

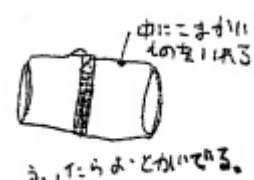



【表4】創造性の状況

N = 28

児童	数				内 容								
	事前	事後	増減	変化	事前 ABCD				事後 A'B'C'D'				
					A	A'	B	B'	C	C'	D	D'	
a	1	1	0	+					1	1			
b	0	2	+2	+				1					1
c	2	3	+1	+	1			1	1	2			
d	3	3	0				2	3					
e	5	5	0				2	4			3	1	
f	2	3	+1	+			2	3					
g	3	3	0		1		2	2		1			
h	2	2	0							2	2		
p	3	3	0				3	2		1			
q	3	3	0				2	2	1	1			
r	1	1	0				1	1					
s	1	1	0		1			1					
t	2	4	+2	+			2	3					
u	2	2	0				2	1		1			
v	1	2	+1	+			1	2					
w	2	2	0		1	1	1	1					
x	3	3	0				3	3					
y	0	1	+1	+				1					
z	3	3	0				3	3					
	3	3	0				2	3	1				
	1	2	+1	+			1	2					
計	55	77	+22	+13 -0 =15	10	7	33	48	9	18	3	3	

- A そのままの形のアルミ缶をつかってつくるもの
- B 1つのアルミ缶を加工したもの
- C アルミ缶を切ったり、曲げたりしたものを組み合わせてつくるもの
- D アルミ缶を使って遊ぶもの

【資料5】創造性をみる調査に関する児童の描画の具体例

<p>そのままの形のアルミ缶を見つけてつくる楽器を描画</p>	
<p>いくつかのアルミ缶を切ったり曲げたり児したものを組み合わせてつくる花瓶、貯金箱、メリーゴラウンドを描画</p>	
<p>そのままの形のアルミ缶を使ってつくる小物入れと、いくつかのアルミ缶を切ったり曲げたりしてつくる汽車を描画</p>	
<p>2つのアルミ缶を切ったり曲げたりしたものを見組み合わせる貯金箱と、さまざまな色後のアルミ缶を利用して、一枚一枚重ね合わせてつくるボールを描画</p>	

(注) アルミ缶とはさみを用意し、切ったり、折ったりしながら考えられるようにした。

【表4】をみると、事前と比較し事後の描画数が増加しています。描画内容をみると、アルミ缶をそのままの形のまま表現する表現が減少し、一つのアルミ缶を加工してつくるもの、アルミ缶を切ったり、曲げたりしたものを組み合わせてつくる表現の数が増加しています。児童の描画や記述をみる

と、G児は、事前はアルミ缶をそのまま使い、中に細かいものを入れて音を出す楽器を表現しています。事後はアルミ缶を組み合わせて表現しています。また、アルミ缶がはさみで簡単に切れることを利用し、貯金箱の飾りの部分は曲線で表現しています。H児は、事前は一つのアルミ缶をまん中で切ったものを接着した小物入れと、アルミ缶を組み合わせた汽車の二つを表現しています。事後は紙のように加工することができるアルミ缶の特徴、アルミ缶の色を利用した表現をしています。

このことから、児童は、アルミ缶とのかかわりを広げ、アルミ缶の特徴を考え、よりよい表現の可能性をさがしながら表現しようとしていることが分かります。

次頁に「対象をとらえる力」「想像力」「創造性」の状況について、題材の学習過程に沿って「J」児を中心とした抽出グループの学習の様子と考察」として示します。

以上、「対象をとらえる力」「想像力」「創造性」の状況についての調査及び観察の結果から、作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動を手だてとして表現活動と関連させて行う学習が、小学校図画工作科における感性をはぐくむことに有効であるといえます。

## 2 図画工作科の学習に対する意識の変容状況

図画工作科の学習に対する意識と、作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動に関する意識について、質問紙による調査を実施しました。

### (1) 図画工作科の学習に対する意識

図画工作科の学習に対する意識調査を事前事後に行いました。その結果を<sup>2</sup>検定によってまとめたものが【表5】です。

【表5】図画工作科の学習に対する意識の変容状況

				N = 28		
設問の観点と設問文	前	後	+	-	計	<sup>2</sup> の値
【表現することを考えることに対する意識】						
1 あなたは「どんなものをつくりたいでしょうか」と考えることは楽しいですか。	+	24	0	24		-
	-	3	1	4		
	計	27	1	28		
【材料・用具の選択に関する意識】						
2 あなたは、かいたりつくったりするときに使う材料や用具を、探したり選んだりすることは楽しいですか。	+	20	1	21		-
	-	6	1	7		
	計	26	2	28		
【自分の思いを表現することに対する意識】						
3 あなたは、図画工作科の学習で、かいたりつくったりするときに、自分なりに考えてかいたりつくったりしたいと思いますか。	+	22	0	22		-
	-	6	0	6		
	計	28	0	28		
【自分の思いを表現することに対する意識】						
4 あなたは、図画工作科の学習で、自分の思ったとおりにいかないとき、自分のイメージに近づくように、いろいろと試してみようと思いますか。	+	17	1	18		-
	-	8	2	10		
	計	25	3	28		
【学習の振り返りに対する意識】						
5 あなたは、作品ができあがったとき、思いを表現するために頑張ったことや工夫したことなどを思い出しますか。	+	19	1	20		-
	-	5	3	8		
	計	24	4	28		

【表5】をみると、どの設問にも有意差は認められませんでした。これは、事前から図画工作科の学習に対しプラス反応が多かったためであると思われます。このことは、児童が自分のおもいを自分なりの形や色で表現する図画工作科の学習に充実感をもっていることの表れであると考えます。

しかし、プラス反応からマイナス反応に変わった児童やマイナス反応のままの児童に対し、さらに一人一人のおもいを引き出し、表現したいものを探し出せるような支援や、自分なりに満足のいく活動ができるような支援を工夫する必要があったと考えます。

1 事前テストは9月9日、事後テストは10月5日に実施した調査は、ア、イ、ウ、エの4肢選択形式で行い、ア、イは+反応、ウ、エは-反応、ア、エはそれぞれの強い反応とした

3 検定に用いた公式は次のとおりである

$$z = \frac{b - c}{\sqrt{b + c}}$$

(bはマイナス反応からプラス反応に変わった数、cはプラス反応からマイナス反応に変わった数である)  
ただし、10  $\frac{b + c}{20}$  のときは、

$$z = \frac{(|b - c| - 1)}{\sqrt{b + c}} \quad (\text{イエーツの修正式})$$

b + c < 10のときには直接確率を計算し、二項分布表により有意水準と比較する

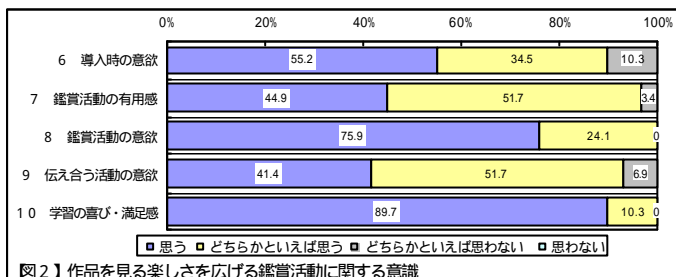
4 の値の欄の-は、二項分布表を用いて判定した箇所である

5 <sup>2</sup>検定において、有意水準5%で有意差がある場合は<sup>2</sup>値の欄に\*を付す



(2) 作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動に対する意識

作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動について、児童はどのような受け止め方をしたのかを【資料6】のような観点で設問し、事後のみ調査を行いました。設問6から設問10は四者択一で、ア(思う)イ(どちらかといえば思う)ウ(どちらかといえば思わない)エ(思わない)がプラス回答、オ(どちらかといえば思わない)カ(思わない)がマイナス回答です。【図2】はその結果をまとめたものです。【資料7】は、設問11学習の感想を楽しさ、有用感、見る活動への意欲、表現への意欲、認め合い、その他の観点でまとめたものです。



【資料6】作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動に関する設問

設問の観点	設問
6導入時の意欲	かいたりつくったりする前に作品を見たときに、「おもしろそう」「やってみよう」と思うか
7鑑賞活動の有用感	表現の途中で作品を見て、よさを伝え合うことは、かいたりつくったりする参考になると思うか
8鑑賞活動への意欲	いろいろな作品を見たいと思うか
9伝え合う活動の意欲	作品を見て感じたことや思ったことを伝え合うことをまたやってみようと思うか
10学習の喜び・満足感	楽しく学習することができたか
11学習の感想	作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動の感想

【資料7】学習の感想の具体的記述例

N = 28 (複数記述あり)

内容(人数)	児童の具体的記述例
羨望 見る楽しさ 3名	・作品を見たり、木にさわったりして何をつくるか見つけたのがおもしろかった。
きらりタイム 見る有用感 5名	・最初はめんどくさいと思ったけど友だちのいいところを見つけたりすると楽しくなって、またやりたいです。 ・きらりタイムは、と中の作品なんだけど、何ができるのか見れてとっても楽しかったです。 ・メモをはるとき、あまりみんながはってくれなくてショックだったけど、みんなうまいって言ってくれてうれしかった。みんなにメモをはってあげて、よこんでくれると自分もうれしい。またやりたい。 ・きらりタイムの時、友だちの作品を見ていて「あの所のつくりかたがいい」と思ったところがあって、それを少し自分なりに考えてまねをしてつくった。
活動への意欲 1名	・きらりタイムで友だちのと中の作品を見て「この人の がよかったから参考にしよう」と思った。 ・楽しいから、また途中の作品を見る勉強をやってみよう。
きらり美術館 見る有用感 1名	・いろいろな作品を見るのも楽しかった。いろいろな人の作品を見たらその人たちのがよくできていた。 ・美術館は、みんなの作品を見るところなので楽しいです。 ・きらり美術館で、いろいろな人の作品をもっと見たいと思った。 ・人がつくったのを見たのはとても楽しかったです。一人一人個性があってよかったです。 ・自然だけのものとかで、こんなにおもしろいものやすこいものが作れるんだなあと思った。
表現への意欲 7名	・作品を見るのは楽しかった。アイデアがおもしろかったり、いろいろな色づかいがあって参考になった。 ・友だちの作品や、ちがう人の作品や写真を見て、またつくってみたいと思った。 ・またやってみようなあ。今度は、森のものじゃなく海のもので作りたいです。
認め合い 8名	・家でも自然のもので何かつくりたいなあと思った。 ・みんなの作品は、どれも木がうまく使われてとてもいい作品でした。これからは木工を楽しみます。 ・友だちのを見て、くふうしている人もいた。すごくむずかしそうなものを作ってた人もいました。だけど、自分なりにくふうできてよかった。 ・友だちのいいところをいろいろ見つけられて楽しかった。 ・みんな同じものをつくってなくていいなあと思いました。自分でもがんばったと思います。またやりたいです。 ・同じ材料を使ってつくったのに一つも同じものがなくて、おもしろいものばかりでした。
その他 表現の楽しさ 3名	・木を使って自由につくって楽しかった。うまくいかないところがあったけど、自分で工夫ができたから、うまくいかなかったところもうまくいった。 ・つくっていると中、材料を選んだり、くっつけたりしてとてもおもしろかった。

【図2】をみると、全ての設問において9割前後が肯定的な反応を示しています。また【資料7】の学習の感想の具体的記述例には、見ることの楽しさ、互いの活動や作品を認め合うことへの満足感、表現活動への意欲などがみられます。したがって、作品を見る楽しさを広げる鑑賞活動を取り入れた学習は、児童が好意的に受け入れ取り組めるものであるととらえることができます。これは、作品を鑑賞する時間を保障し、ゆとりをもって互いの作品を鑑賞することができたこと、互いの作品のよさを認め合う視点を取り入れた学習カードや付箋紙を使うことで、作品の感じ方や見方の共通点や相違点などを感じながら鑑賞することができたことによると考えます。また、質問10の結果から、表現活動の満足感が作品を見る楽しさにもつながるものと考えます。

しかし、「メモをあまりみんながはってくれなくてショックだった」という記述もみられました。これは、作品を見た感想を付箋紙に書いて伝える活動の時、感想の数に偏りがみられたことや、内容が「かわいい」「きれい」などにとどまり、「どんなところがよいと思ったのか」「そう感じたのは作品のどんなところからだろう」という感じ方や見方の記述が不足していたことによると思われる。

今後の指導にあたっては、児童が、作品を鑑賞することや、作品を鑑賞した感想を伝え合うことに、より興味をもつことができる方法を検討したいと考えます。また、児童が、より満足感をもつことができるような題材を開発することも必要だと考えます。

## 研究のまとめと今後の課題

本研究は平成12年度及び13年度の2年間にわたり、小学校図画工作科における感性をはぐくむ学習指導の在り方を明らかにしようとするものです。本年度は授業実践をとおして、学習指導試案の妥当性を確かめることができました。この研究から明らかになったことをまとめると次のようになります。

### 1 研究のまとめ

- (1) 発想の段階で、参考作品を見て感想を述べ合うことにより、材料に対する期待感や表現のイメージを広げ、表現活動に対する意欲を引き出すことができたこと
- (2) 構想・表現の段階で、表現途中の作品を見て気付いたよさや美しさを伝え合う活動「きりりタイム」により、児童の感じ方や見方、表現を広げることができたこと
- (3) 鑑賞の段階で、互いの作品を見て感想を交流するとともに、表現活動と関連ある作品を見て感想を述べ合う活動「きりり美術館」により、作品のよさや美しさを感じ取ることができたこと  
また、身のまわりのものを見直したり、鑑賞の対象を広げたりするきっかけとなったこと

これらをとおして、小学校図画工作科における感性をはぐくむことができた

### 2 今後の課題

- (1) 導入段階で提示する参考作品を児童の自由な発想を引き出すことができるものにする
- (2) 一人一人のよさを認め合う活動がどの児童も満足することができるようにすること
- (3) 表現と鑑賞とをより関連させた造形活動を工夫すること

## おわりに

この研究を進めるにあたり、ご協力をいただきました研究協力校の校長先生をはじめ、諸先生方、児童のみなさんに対し、心から厚くお礼申し上げます。

### 【引用文献・主な参考文献】

高橋史朗編集	「現代のエスプリ」p12、15、16、105	至文堂	1997年
石川 毅編著	「総合教科 『芸術』の教育課程と教授法の研究」	多賀出版	1996年
V・ローウェンフェルド	「美術による人間形成」	黎明書房	1969年
花簾 實監修	「美術教育の課題と展望」	建?社	2000年
片岡徳雄著	「心を育て、感性を生かす」	黎明書房	1998年
高橋史朗編	感性・心の教育2「感性教育による授業改革」	明治図書	1999年
行場次朗・箱田裕司編著	「知性と感性の心理」	福村出版	2000年